

平成28年第3回（9月）定例会一般質問

9月7日（水）

15番 衛藤正宏 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 安心、安全なまちづくりについて	① 交通安全対策の現状と課題について伺う。 ② 市民を犯罪から守り、安心して生活ができる防犯対策について伺う。	市長	
2 ジオパークの推進計画について	① 現状と課題について伺う。	市長	

6番 朝倉秀康 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 蝙蝠滝について	（1）朝地町1丁目1番地にある蝙蝠滝は大野町の沈墮の滝と共に2007年7月26日、国の登録記念物として指定を受けた。それから地元は地域の活性化の目玉になるものと期待を込めて行政の動向を待ち続けた。ところが、9年間経過した今日でも全くその動きは見えぬ極めて消極的であると判断した。	市長	

	<p>そこで、この蝙蝠滝について市はどのような扱いをしているのか調査してみると、次の5項目の内容が見えてきた。</p> <ul style="list-style-type: none">① 現在、市が総力を挙げて取り組んでいるジオパーク構想の中の20か所の内に入っていない。本市にとって、最大級の自然の造形物でジオパークの最大の目玉であると思うが何故か。② これまでの市の観光行政の中で蝙蝠滝に関係した出版物、広告、パンフレットが全く見当たらない。③ 豊後大野市のホームページの観光情報ページに蝙蝠滝の記載が一切ない。④ 里の旅公社のホームページ自然景観公園ページにも記載されていない。⑤ 2007年沈墮の滝と同時に国の天然記念物として指定を受けているが、蝙蝠滝についての紹介物が全くない。 <p>以上5項目について市の見解をお伺いします。また、市は蝙蝠滝を今も、将来もどのような展望を抱いているのかお伺いします。</p> <p>(2) 次に地域による開発についてですが、蝙蝠滝の市の開発を9年間待ち続けた地元緒方町草深野地区の人たちは、市の消極的な行動に見切りをつけた。そこで地域自ら民間による行動を起こし、開発に乗り出すことにした。</p> <p>草深野炭焼地区に雄大な蝙蝠滝全体が眼下に一望できる景勝地があり、まずここから開発の第一歩を歩み始めた。</p> <p>地区民による景観の遮っている樹木の伐採、展望台建設場所の整地及び拡張、展望台の建設、展望台までの案内標識の当面の設置、ドローンによる空撮を行い、動画及び静止画をインターネットでの公開を</p>		
--	--	--	--

	<p>実施中、以上 5 つが、緒方町草深野地区で自主的に取り組み始めた概要です。以上の地域の行動に対し市の見解を伺います。</p> <p>(3) 次に、以下の 8 点について市の見解を伺います。</p> <p>① 眺望地点である展望台付近にトイレの設置</p> <p>② 案内板、道標の作成</p> <p>③ PR 用ポスター、パンフレットの作成</p> <p>④ パークゴルフ場から展望台まで約 1 kmの間 2~3 か所離合場所の設置（土地交渉は地元で行う）</p> <p>⑤ ジオパーク、エコパークへの参入。公式ホームページへの記載等</p> <p>⑥ 緒方町下自在の十字路に設置しているジオパークの看板を竹田市境付近への移設</p> <p>⑦ 市内道の駅へ蝙蝠滝の写真掲示と職員へ蝙蝠滝の説明指導</p> <p>⑧ 当面原尻の滝～裏年野～パークゴルフ場～蝙蝠滝展望台までのウォーキングコースの開設を（全長約 3 km）</p>		
--	---	--	--

5 番 内田俊和 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者	答 弁 者
1 補助金の一部返還について	① 平成 26 年度ツーリズム協会助成金のうち、充当した市助成金の返還をどのように試算して、請求したのか。	市 長	

	<p>② 一般社団法人里の旅公社の自主財源は平成27年3月31日現在、いかにどの金額がありましたか。</p> <p>③ 県の助成金の返還金との内容は。</p>		
2 基金について	<p>① 普通交付税は5年間で段階的に削減されていくとの説明でしたが、基金の活用については。</p> <p>② 現在の市民が辛抱しなければならない理由は。</p> <p>③ 最低限の基金はいかほど。</p> <p>④ 基金は、市民が使えるようにできないのか。</p>	市長	
3 農業振興について	<p>① 担い手の育成、確保及び支援について。</p> <p>② 小規模農家に対する支援について。</p> <p>③ 鳥獣被害対策について。</p> <p>④ 耕作放棄地の対策について。</p> <p>⑤ 畜産振興について。</p>	市長	

4 番 小野勇治 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者	答 弁 者
1 市が計画する今後の各分野のデータからの課題について	第2次豊後大野市総合計画基本構想(ぶんごる)を基本に第3期行政改革プラン、第3次農業振興計画や第6期の介護保険事業などそれぞれの分野の計画が将来目標値を掲げています。その根拠は過去のデ	市長	

	<p>一タから、将来の中長期の推定を基に実施されているものと考えます。</p> <p>各分野について課題と考える点について伺う。</p> <p>① 職員採用枠を突然変更し、大幅な増員計画を示したが、なぜ今なのか、見解を伺う。</p> <p>② 介護保険事業は大分県 1 位の負担金（保険料）であり、将来この負担金の軽減に対する見解を伺う。</p> <p>③ 合併から 11 年。土木建設関連事業の予算は減少し、地域経済の衰退の一因となっている。見解を伺う。</p>		
--	--	--	--

8 番 沓掛義範 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者	答 弁 者
1 豊後大野市後継者確保育成事業についての検証	<p>① 後継者支援交付金</p> <p>② 新規就農支援交付金</p> <p>③ 法人就農支援交付金</p> <p>④ 担い手経営強化対策事業</p> <p>について、これまでの申請と今後の取組を伺う。</p>	市 長	

<p>2 農機具への課税のあり方について</p>	<p>大農具（トラクター、コンバイン、もみすり機など）及び小農具（草刈機、管理機、揚水ポンプなど）などの課税のあり方について伺う。</p>	<p>市長</p>	
<p>3 おおいた消防団員応援ショップ推進事業について</p>	<p>豊後大野市として、この事業に対する取組みと、対象事業所に対する豊後大野市としての支援策はこれから考えていくのか伺う。</p>	<p>市長</p>	

	い時期に市民病院内に設置し、保育サービスの充実を図るべきと思う。市の考えを伺う。		
--	--	--	--

7 番 神志那文寛 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者	答弁者
1 就学援助の拡充を	<p>子どもの6人に1人が貧困世帯、ひとり親家庭では2人に1人が貧困世帯と言われるなか、生活に困窮する世帯の子どもに対する支援が、ますます重要になっています。</p> <p>子どもの教育の権利は、世帯の経済的理由にかかわらず平等に与えられるべきであり、そのために学校教育法に基づき、小中学生がいる生活に困窮する世帯に対して、学用品、修学旅行、給食費などの費用を支給する就学援助制度が実施されています。</p> <p>就学援助制度は、要保護世帯、準要保護世帯を対象としており 2013 年度では、全国でその数は要保護世帯約 15 万人、準要保護世帯約 137 万人の合計約 152 万人であり、就学援助を受けている率は、15.42%にものぼっています。</p> <p>この、子どもの教育を支える大きな役割を果たしている就学援助制度について、さらなる拡充を求めて、以下質問いたします。</p>	教育委員長	

① 2014年度の生活扶助基準の見直しに伴い、就学援助の認定基準を引き下げたのは問題があるのではないのでしょうか。

② 就学援助の拡充は、どのようなことを行ってきましたか。また今後の予定はないのでしょうか。

③ 周知方法を拡大すべきではないのでしょうか。

全国の就学援助率は、2013年で15.42%となっています。また県内では、A市が小学校18.8%、中学校19.3%、B市が小学校一年生26%、中学校一年生32%などであるのに対し、豊後大野市では小中学校とも10%前後と、低くなっています。この要因を、どのようにとらえていますか。

対象者への周知方法を拡大すべきではないのでしょうか。

④ 入学準備金は前倒しで支給すべきです。

就学援助は、7月、12月、3月の3回に分けて支給されていますが、最初の支給が7月では遅いのではないのでしょうか。特に、入学準備のための新入学学用品費が7月に支給されたのでは、新入学の児童、生徒は、入学準備が整わないのではないのでしょうか。

他市でも実施が始まっていますが、入学準備金を入学前の2月や3月に前倒し支給するよう、改善すべきではありませんか。

9 番 衛藤竜哉 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者	答弁者
<p>1 エコパーク認定に向けての総合的施策は</p>	<p>いよいよジオパーク認定に続いて、大分県、宮崎県境をまたいでの4市2町による「祖母山・傾山・大崩山」ユネスコエコパークの登録認定に向け、大分・宮崎両県との連携の下、推進しているようであります。</p> <p>登録までの流れでは、8月には申請書の提出、今秋には国内推薦地域の決定がなされると伺いました。</p> <p>これまでも質問をさせていただき、現況の進捗情報等お聞きしましたが、いよいよと思うと大きな夢、期待は勿論、大丈夫なのかなという不安感もどんどん膨らむところです。生態系の保全・自然と人間社会の共生を目的とした事業認定に向け、最終段階である現状、地域活性化や地域間の交流推進等について伺う。</p> <p>① 豊かな自然、貴重な原生林等の保護の取組みは。</p> <p>② 次世代へ伝えていくための共生に関する教育や研修の取組は。</p> <p>③ 自然を敬う気持ち（伝統）を次世代へ受け継ぐ取組は。</p> <p>④ 学術的研究や調査・研修への支援する取組は。</p> <p>⑤ 市民への協調してもらうための説明の取組は。</p> <p>⑥ 急峻な険しい山々に囲まれた地域での道路事情、施設周辺の改修等の取組は。 県道三重・弥生線、県道緒方・高千穂線やその他対象市道等</p> <p>⑦ 認定後の自然環境への悪影響等を危惧する声もあるがその対応への考えは。</p>	<p>市 長</p>	

<p>2 大分豊肥地区総合防災訓練について</p>	<p>9月4日(日)、豊後大野市・竹田市で大分豊肥地区総合防災訓練が予定されていましたが、中止となりました。</p> <p>4月に発生した、熊本・大分大地震による大災害は5か月たった今でも、避難生活を余儀なくされている方、自宅等が未だ手が付けられない方等が多数いることを思うと、備えあればと考える避難訓練に参加することが絶対必要だと考えます。</p> <p>このような大規模な総合訓練がおこなわれるのは、実にタイミングが良いことだと思うのであります。</p> <p>総合防災訓練の取組み状況、検証をしっかりと行うように期待すると共に、これを市民、特に防災士や消防団に意識をどのように浸透させていくのか。</p> <p>また、市防災担当(災害対策本部)、消防本部、消防団、防災士、住民との連携、情報の共有等、それぞれの考え方、更なる取組みを伺う。</p>	<p>市長</p>	
---------------------------	--	-----------	--

17番 宮成昭義 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
<p>1 スポーツ振興における本市の今後の展開について</p>	<p>熱戦が繰り広げられた南米初開催の第31回夏季オリンピック・リオデジャネイロ大会が8月22日閉会し、感動と涙そして夢と希望を与えてくれました。</p> <p>4年後には東京オリンピックが開催されます。市としてもスポーツを通じたまちづくりを目指すことから、以下の3項目について伺います。</p>	<p>市長</p>	

	<p>① 本市のスポーツ振興策としてどのように考え、取り組もうとしているのか。</p> <p>② 振興のためには指導者等の人材確保が必要と考えるが、人材確保対策の取組は。</p> <p>③ 職員採用枠が増となる中、社会人枠、スポーツ枠を設ける考えは。</p>		
2 竹林整備の推進について	<p>第2次総合計画で、健全な森林を育てる森林整備が必要とのことから林業振興が謳われていますが、竹林整備については何ら謳われていません。</p> <p>現状、本市にあつての森林面積は44,630ヘクタールで、その内山林面積は41,985ヘクタールで69.6%、竹林面積は1,100ヘクタールで2.0%ではありますが、竹林にあつてはほとんどが、放置竹林であります。</p> <p>① 現状をどのように捉えているのか。</p> <p>② 整備事業として推進をなすべきではないか。</p>	市長	

2 番 川野優治 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 市民病院について	<p>① 現状と課題について</p> <p>② 今後の展望について</p>	病院事業管理者	